

菅原、御殿山、楠葉、津田の4センターのスタッフが気になる本を一冊読み、そこで感じたことを通して何か行動を起こすという枚方まなびつながりプロジェクト初の合同連続企画。緊急事態宣言で臨時休館のセンターから何か皆さまの学びやつながりのお役に立てる情報発信が出来ないだろうかと考えました。それぞれの「だより」とホームページで記事をご覧いただけますので、他のセンターと見比べて楽しんでください！



オールドアメリカンスタイルのブラックバス釣りやハードロックをこよなく愛するアラフィフ?男性。少し寝ぐせがみ。
今回の記事を書いた人
/所長 みつしま

● 読んだ本

「なんのために学ぶのか」

● あらすじ

ご存知、ジャーナリスト池上彰さんの著書。昨年同氏が岡山市のノートルダム清心女子大学で行った講演録をもとにまとめた書籍です。

● 感想

「なんのために学ぶのか」深いタイトルですよね。わかりやすいニュース解説で人気の同氏の著書で、しかも大学生向けの内容だけあってとっても読みやすいです。わたくし恥ずかしながら活字を読むのが実は結構苦手なんです。一日で読み終えることが出来ました。著者が本のなかで述べています。勉強も学びも意味は同じ。だけど「強いて勉(つと)める」と書く「勉強」よりも「学び」という言葉の方がずっとスマート。子どもでも大人でも「これはおもしろいな」と思えるものが一つでもあれば、あとは自発的にやる。この本には学びが人生や社会全体をどんな風に豊かにしてくれるものなのかが著者の体験やエピソードとともに書かれています。学ぶことの意味や効用を知ったり再確認させてくれる本で、わたくし自身も多くの気づきや学びがありました。著者は言います。学ぶことに遅いということは絶対ないと。早いに越したことは無いけれど、40代、50代や高齢者でも学ぶことの楽しさ、おもしろさに目覚めた時がスタート。著者のお父さんは、88歳を過ぎて急激に体力が衰えて寝たきりになった病床であっても、岩波新書の「広辞苑」新版を枕元において少しずつ読みすすめていたそうです。「ああ、最後の最後まで学ぶ楽しさを知っていたんだ」と著者が感動を覚えたお話です。わたしもセンターで皆さんの学びをしっかりとお手伝いできるように頑張っていきたいと思います。

池上 彰著 / S B 新書

● この本を選んだ理由

なんといってもタイトルが生涯学習市民センターの企画にピッタリでしょ。所長たるものこれを読まずに何を読む。ということでこの本を選びましたよ。



今回のアクション！

.....▶ 「Tシャツでオリジナルブックカバー！」

● このアクションにした理由は...?

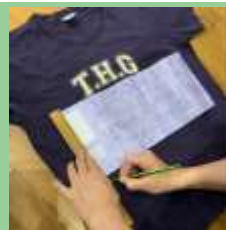
オリジナルブックカバーをつくれれば本を読むことがより楽しくなるのでは？着なくなったTシャツも一杯あるし、うちの奥さんは家政科卒の裁縫上手。ということで挑戦してみましたよ！



● 作り方 ...所要時間：約3時間

● 準備するもの

- ・Tシャツ
- ・アイロン
- ・裏生地
- ・ミシン
- ・ひも
- ・裁縫道具一式
- ・ビーズ



①Tシャツをブックカバーの大きさにカット！



②裏地もカット。悩んだ末にデニム生地を採用！



③ミシンを触るのは中学校の家庭科以来。Tシャツ生地と裏生地をはりあわせて伸びないようにします。



④しおりはビーズと三つ編みひもでおしゃれにね。



⑤完成！Tシャツのタグも再利用。ステッチも入れてかっこよく。



● 感想 ところどころ縫い目が曲がっていて本を入れるとキツキツなのですが、やっぱり自分で作ると愛着がわきます。奥さんのきびしい指導に耐えて作った甲斐がありました！みなさんもお好きなTシャツで作ってみては？

楠葉生涯学習美術センターの「読書アクション！」をちょっとのぞき見...



● 読んだ本

「おりがみ倶楽部 恐竜のおりがみ」高井弘明著 / 誠文堂新光社

● 楠葉のアクション！

小学生の頃、よく折り紙で遊んでいたという所長が迫力満点の恐竜作りに挑戦！初めて日本国内で化石が発見されたフタバスズキリュウには日本らしく千代紙を使うなどの手の込みよう！渾身の作品はくずはだより6月号でご覧頂けます。



千代紙でつくったフタバスズキリュウ